

## 令和 2 年度 みやぎ環境交付金事業 (計画・実績) 概要書

市町村名 : 仙台市

### 次世代自動車 EV・PHV 率先導入事業

#### <事業目的>

電気自動車 (EV) やプラグインハイブリッド (PHV) (以下、EV 等という) は二酸化炭素排出削減効果大きい他、東日本大震災後に、多くの地域では電力供給が比較的早く復旧したことから、自動車燃料の供給が途絶した時の移動・輸送手段として、また電気の未復旧地域における電力供給源として、その有用性が再認識された。

仙台市基本計画において、「良好で快適な環境を守り創る都市づくり」の実現のため、「次世代自動車の普及促進などにより自動車による環境負荷低減を進める」ことを掲げている。

公用車を EV 等に転換する目的と、専用ロゴマーク「でんでんくん」を車体にラッピングし市民に啓発する媒体とすることで、次世代自動車等の普及啓発を目的とし、二酸化炭素排出削減、自動車環境負荷低減対策を進める。

#### <事業内容>

市公用車に電気自動車を計 11 台導入し、走行中における市民への電気自動車の啓発を図る (図 1、2)。

当年度の事業費 37,308,237 円

事業実施期間

令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月

#### <リンク>

仙台市 電気自動車関連ページ

<http://www.city.sendai.jp/taiki/kurashi/machi/kankyohozen/kurashi/tegen/shiyakusho.html>



図 1 令和 2 年度導入車両



でんでんくん

図 2 仙台市電気自動車啓発ロゴマーク